

表1. 外部のプールを借りることに賛成する理由

プール施設の確保、環境の充実 (37)	場所がないからしいではなく、環境を作るべきだから
	広いから
	設備が整っているから。
	室外より、プールが室内にある方が天候を気にすることがないため。また衛生面でも室内の方がいいと考える。
	設備が豊富なため、児童をグループ分けして授業をすることが出来る。
	設備が充実しているため。学校のプールの老朽化
	授業の環境を整えることは大切だから
	プールの老朽化が進んでいる中で実施ができないとなると、子どもたちの今後を考えた時に水泳の授業は必要だと考えたから。
	老朽化などで併設のプールが使えない、プールが併設されていないなどの理由であっても、行うことができるから。
	広く環境が整っているから。
	老朽化が進む中で、設備が整った安全な環境で授業を行う方がいいと考えるから。
	学校のプールは古くて、危険がある場合もあるから
	整備された設備で行われる方が、児童のやる気につながると思うから。
	プールの老朽化が進んでいると聞くため。
	学校にプールの施設がないところがあるから
	設備が充実し
	学校のプールが使用できない可能性もある
	プールの老朽化により
	公室のプールの方が設備が整っているから。
	設備の良さ
	設備の老朽化
	設備が整っているから
	設備が充実しているから
	設備が整っているため。
	水泳道具などの施設の環境が整っていて充実していると考える。
	設備が整っているから。
	設備が整っているため
	プールがない学校もあるから。
	子どもにとって良い環境で泳げると思う。
	学校にプールが無いから水泳の授業をやらないこともあるのなら、場所を借りてでもするべきだと思うから。
	設備の整ったところで行う水泳に関して賛成だから。
	設備が整っているから
	場所が無いのであれば、そのような対応も必要であると思う。
	学校の設備に関わらず、水泳の学習を行うべきだと考えるため。
	学校によってはプールがないなどの事情がある為
	プールのない学校もあるため
	設備が整っているから
準備・管理の簡便性 (25)	プールの準備であつたりコスト面で得がある
	プールの管理などの作業の削減に繋がる。
	公立小学校のプールの老朽化等が進んでいるため、管理が困難な場合があると思うから。
	プールそのものの管理は教員の仕事ではないし、責任が重すぎるから。
	学校でプールの管理をする仕事が減るから。
	プール掃除やそれにかかる費用など抑えられるから。
	プールの止水を忘れていたことによる損害賠償事例が数件ある。こうした教員の不注意による損害賠償事業がなくなるという大きな利点があると考えている。また、プールの維持管理にも一定のコストがかかっているのが現状である。清掃やメンテナンスを教員が担当することも多い。こうした時間を授業研究に充てることが質の高い教育につながれるという利点も大きいと考えている。
	水質検査を教員が必要なくなるから
	管理、掃除など大変
	プールの管理が大変だから。
	水泳の経験忘れなどで多額のお金を教員が負担するなどのニュースを見たことがある。
	掃除の頻れないよう注意を出すか、そういったところまで教員が負担しなければならないのか、入れるかどうかの、水質検査などでの勤務外負担にもかかるから。
	学校でのプールの管理が大変だと考えるから
	手入れが行き届いているから。
	学校のプールを先生が管理するというのは、負担であるし、もしもの時に責任を負うにはリスクが大きすぎると感じる。
	マニュアルがあっても専門的なので理解するまでに時間を要する。老朽化が進み不具合も多いため、民間のきちんと管理されているプールを使うべきだと思う。
	プールの管理を学校で行うとなると負担が大きすぎるから。
	水質管理の難しさ
	学校のプールの手入れが要らず楽である
	水の出しっ放しや事故を防ぐことができるから。教員の心理的負担が減るから。
	学校の経費削減や水が出しっぱなしになっってしまうなどの予期しないミスを防ぐため
	プール掃除が必要なくなるという点
	施設の管理がきちんとされていると思うから。
	掃除や管理の手間が省ける
	設備の整備がたいへんため
	学校でのプール管理は難しいため。
	プールの管理は労力がかかるため
安全面、衛生面の確保 (19)	安全性が保証されているから
	衛生面でも、良い
	学校が人手不足の中、命の危険を伴う水泳の授業はできないし、人員が確保できないら、暇としてもほしくないと感じる
	プールサイドが汚すまで歩きたくなかったから管理が整っている施設を利用したい
	熱中症などの危険リスクが小さいため
	安全性が確保されないため。
	プールの老朽化などでの安全面に不安を感じるため。
	プールの老朽化でプール指導以外にも気を散らさないといけない場面がありそうだから。
	安全面の考慮のため
	整った環境ですることはいいことだと思うから。(衛生面など)
	監視の目が多い
	学校のプールよりも設備が整った場所が近くにあるのであれば、児童の安全面を配慮した上でその方がいいと感じるから。
	プールを管理する上で、定期的に点検をされているプールの方が、子どもたちが安全に活動に取り組むことができるから
	管理業者も含め多くの人で監視することもできるから
	プールの施設の安全面と、子供たちの体調管理の面で適切であると感じるため。
	老朽化により衛生面で心配があるから
	安全面の観点からきちんとした施設で行うのがいいと思います
	外のプールでの授業は子どもたちの命に関わるような危険な状態になってきているため、屋根付きの場所であつたり一定の気温の中でプールができる方がいいと思うから
天候等の影響が小さい (15)	年間を通して活用されている設備のため、安全面において良いと思ったから
	天候を気にせず行うことができるため。
	屋内プールの場合、授業実施可能な判断が天候に左右されず、予定に沿って進めやすいから。
	気温上昇により水泳ができる機会が減っているため、室内で熱中症のリスクを減らすことができた方が良く感じたため。
	自身が学生の時、天候で何度も延期になった為
	屋内であれば天候に左右されることがないから
	天気や気温に影響されずに授業を行うことができる。
	天候に左右されることがないから
	気温の高い日が多く、安全でないため
	また、時期によっては寒すぎるため
	雨などできなくなると時間の都合上困るから
	学校にプールがない場合など、使えない状態であるときにプールの授業を行うために必要であると考える。
	ある程度時間をまとめてできるのではないかと思ったから
	時期に関係なく水泳指導をできる可能性も出てくるのではないかなと思ったから。
	天気や気温の影響を受けないから。
	気候に関係なく実施できるから。
	最近では夏の気温上昇などの影響もあり
教員の負担軽減 (10)	労力の負担軽減
	教員の負担軽減
	業務負担が大きい。
	働き方改革にもつながると思う。
	業務の負担が減るから
	業務の負担が減るため
	水質管理の仕事が減るため。
	教師の仕事負担を分散し
維持費・管理費の削減 (3)	プールの水位や水質の管理は外務委託できたら、教員の負担が減る。
	教師の負担が減るから。
	学校でのプールの維持費や水道費が削減出来ると考えられる
単元時間の確保 (1)	コストの観点から
その他 (2)	学校が負担する経費が大きく削減できることがある。
	児童が一度に入れる時間が限られているため、回数を増やすのであれば周りの施設も借りたほうが年間を通して入水できる。
	学校の敷地内にプールを建てるとなると、子どもたちの遊びの場・運動の場となるはずの運動場面積が狭められるから。
	地域の施設を利用する体験を行えるため。